

## 2. 京都府の地域特性

### 2.1 京都府の地域特性

京都府の地形は、断層や定高性山地、盆地、リアス式海岸など多様な特徴を有している。丹後半島や京都盆地など代表的な地形は存在するものの、他府県で見られるような特異的な地形は少ない。一方で、京都府の岩盤は割れ目が多く、トンネル掘削時に余掘が発生しやすい地質である。

#### 2.1.1 京都府の地形<sup>1)</sup>

- (1) 京都府の地形は大きく五つに区分され、北から丹後区、宮福区、丹波区、山城区、笠置区に分類される。
- (2) 丹後区の丹後半島区は、高度 500～600m の定高性をもつ山地と、それを取り巻く高度 200～300m 程度の小起伏面から構成されている。山地東縁には、角突山や太鼓山が南北方向に連なって突出している。この地形区の特徴としては、地すべり地が多いことが挙げられる。また、北海岸には海成段丘が発達している。竹野川以西の北丹後区には、網野峰山低地および久美浜低地が南北方向に分布し、その南縁には山田断層による急峻な断層崖が形成されており、その崖頂には東北東方向に定高性の尾根が連なる。さらに、東縁には北北西方向の郷村断層および仲禅寺断層が並走している。
- (3) 宮福区は、北西縁を山田断層および野田川河谷、南東縁を上林川断層および上林川河谷が画し、その西方延長は綾部・福知山付近に至る。海岸部は宮津湾から舞鶴湾、大浦半島西部までの範囲を占める。地域は、東北東—西南西方向に延びる山列と複雑に入り組んだ水系によって特徴づけられ、海岸線はリアス式である。由良川河谷から舞鶴湾の長軸を結ぶ線の北側が大江山区である。北東端は大浦半島北部で、舞鶴湾より西側には標高 600～700m 級の定高性をもつ大江山連峰が連なる。この南側、雲原川の谷の南には、天ヶ峰から西方へ同じく標高 600～700m の定高性をもつ山地が連続している。舞福区との境界部には青葉山および田倉山が位置する。舞福区は由良川以東に広がり、東北方向および東西南西方向に 3 列の山地が並走している。福知山や綾部の盆地周辺には、更新世中期に形成された新しい時期の河湖成層である大阪層群最上部相当層が広がっている。また、かつて由良川は福知山から竹田川河谷を経て加古川へ流下していたといわれている。
- (4) 丹波区は、府内中央部に広がる丹波高地を中心とした広域の山地である。南縁は保津峡から京都盆地北縁を経て比叡山北側へ至る。若丹地区と摂丹地区の境界は、綾部から由良川中流河谷、胡麻を経由して桂川沿いに亀岡盆地へ至り、西山東縁へと続く線で示される。若丹地区は、由良川および桂川という二大水系の上流域に位置する。山地の標高は東部で 800～900m、西部で 500～600m と東高西低の地形を呈し、東縁は花折断層によって比良山地と区分される。

また、両河川が東から西へ流下する必従的流路を示すことから、この地域は西へ傾動しつつ隆起した傾動地塊とみなされる。撰丹地区は丹波高地の西部にあたり、南丹市日吉町胡麻には、由良川および桂川の両水系にまたがる大規模な谷中分水界が存在する。かつては、園部川を含む桂川水系が北流し、由良川に合流していたとされる。また、三峠断層系には、三峠断層、殿田断層、神吉越畑断層、亀岡断層などが並走している。

- (5) 山城区の東部には南北方向に延びる比叡醍醐山地が位置し、西部には京都盆地と山城盆地が南北に連なっている。両盆地の境界は宇治川であり、山城盆地南部の東側、比叡醍醐山地の南側には笠置区が広がる。比叡醍醐山地は、丹波高地や京都盆地とは花折断層系によって区分されている。比叡山地は山科盆地北縁で終わり、醍醐山地はそこから約 3km 東方へずれた位置で再び南北に延び、宇治川の先行谷を挟んで郷ノ口低地で終端する。京都盆地は、花折断層系と西山断層系により東西を限られており、その東部には“京都盆地のミニアチュア”ともいえる山科盆地が存在する。山城盆地は、木津川市から北流する木津川河谷と、その東西両側に広がる丘陵地から構成され、東西の支流の多くは天井川化している。
- (6) 笠置区は府最南東部の山地域で、基盤地質構造帯である領家帯に属する。地域は、和東谷および木津川谷によって、北から鷲峰山地塊、信楽高原西部、大和高原北部に区分される。これらの山地はいずれも山塊南縁に逆断層を伴い、北へ傾動した傾動地塊を形成している。
- (7) 京都府は北部エリアが積雪地域に該当するものの、覆工コンクリートの品質に影響を及ぼすような地域特性は確認されていない。また、丹後半島や京都盆地などの代表的な地形は存在するものの、他府県で見られるような特異な地形も少ない。ただし、京都府の岩盤は割れ目が多く、トンネル掘削時に余掘が発生しやすい地質である。



図 2.1.1 京都府の地形

出典：京都府レッドデータブック 2015 平成 27 年 4 月 京都府